

「碧樹館プログラム」第20期塾生を募集

～志尚^{たか}き次世代リーダーを養成～



橋田 紘一
理事長兼塾長

6百人超が卒塾、社会に貢献する『人財の森』着々

2004年4月に九州の産学官界の連携で設立された特定非営利活動法人九州・アジア経営塾（通称KAIL）は、

志尚き次世代リーダーを育成する「碧樹館プログラム」の第20期生の募集を2月13日から開始する。

ここ九州に欧米型ビジネススクールとは一線を画し、アジア型の経営哲学に立脚した「平成の松下村塾をつくらう」という熱い想いで設立された同塾。碧樹館プログラムでは各界の最前線で活躍する著名な講師を招き、徹底した討論をはじめ講師と塾生が互いに切磋琢磨し学びながら、そこで得られた気付きを塾生自身

が実践し、「自らの基軸」を確立していく戦略的リーダー養成が特徴だ。

今期で19期を迎え、これまでに卒塾した610人のうち所属企業・団体のトップ就

アジア、そして世界をリードする人材輩出へ

対象は組織を動かす変革できる36～50歳の経営ミドルや役員、起業家などを想定。「集合学習」と、その各モジュール（学期）の前後での「反すう学習」、塾生自ら課題を選定し変革のための処方箋を描く「プロジェクト学習」の3つを柱に展開する。

第20期は6月下旬に開講し、来年4月下旬に修了予定。隔週の土曜・日曜日にセッションを行い、その受講時間は230時間超におよぶ。対面での開催を原則とし、集合時の感染防止対策も徹底している。定員は36人。応募締め切りは4月中旬を予定。志望動機書や面談をもとに総合的に選考する。

任者は61人、役員就任者は300人を超えるほか、行政の局長など、さまざまな分野や立場で活躍している。卒塾後も同窓会組織「碧樹会」を通して、タテ・ヨコ・ナメの人的ネットワークの場を提供するのも大きな特徴だ。

橋田塾長は、「経済のグローバル化など取り巻く環境が大きく変化する中、既存の価値観にとらわれない大胆な知恵と、道なき道を切り開く使命感に溢れたリーダーの育成が急務となっている。SDGsの推進など社会課題の解決が経営に必須となる中、開塾以来、世のため人のために利他の心を持った人を育成してきたKAILは、まさに中身の濃い学びの場だと自認する。来春の開塾20周年に向けてKAIL自体も植樹など社会貢献活動に取り組み中、九州・日本、アジア、そして世界をリードしていくという志尚き人の入塾をお待ちしている」と話している。

KAIL

THE KYUSHU-ASIA INSTITUTE OF LEADERSHIP

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 九州・アジア経営塾

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82

電気ビル共創館 7階

(事務局) TEL: 092-726-1861

碧樹館プログラム
第20期
2023年6月開講



募集要項はコチラ！